

# 小林電通大教授に島津賞

## 島津科技 振興財団 来年2月、京都で表彰式

【京都】島津科学技術振興財団（京都市中京区、岡本道雄理事長、075・8233・3240）は8日、科学計測の基礎研究の功労者を表彰する「第29回島津賞」に、電気通信大学量子物質工学専攻特任教授の小林孝嘉氏を選出したと発表した。受賞対象研究

は「開発した世界最短4フェムト秒（フェムトは1000兆分の1）幅のパルスレーザーを用いた化学反応時の分子の形の変化を測定する遷移状態分光法の確立」。副賞に300万円が贈られる。

表彰式と受賞記念講演は2010年2月19日に京都ホテルオークラ（同

市中央区）で開く。併せて選ばれた若手研究者を助成する総額1100万円の研究開発助成対象者11人は次の通り。

▽浅沼俊彦大阪大学臨床工学融合研究教育センター特任講師▽木口賢紀東北大学金属材料研究所先端分析研究部門准教授▽木村佳文京都大学大学院理学研究科化学専攻准教授▽末吉健志京都大学大学院工学研究科材料化学専攻助教▽徳田規夫金沢大学理工研究域電子情報学系助教▽鳥羽陽金沢大学医薬保健研究域薬学系准教授▽中川誠司産業技術総合研究所人間福祉工学研究部門主任研究員▽鳴海康雄東北大学金属材料研究所磁気物理学研究部門准教授▽船曳和雄大阪バイオサイエンス研究所システム生物学研究部門准教授▽村上信一東北大学工学部電気情報工学科准教授▽山田健一九州大学大学院薬学研究院機能分子解析学分野准教授

日刊工業新聞 (3)  
09.12.09

化学工業日報 09.12.09 (11)

09年度島津賞に  
小林電通大教授



島津科学技術振興財団

島津製作所は8日、島津科学技術振興財団の第29回（2009年度）島津賞の受賞者を、極限的超短パルス光レーザー開発の第一人者である電気通信大学の小林孝嘉教授（量子・物質工学）に決めたと発表した。

小林教授は97年に、非共直線配置の光パラメトリック増幅方式によってパルス幅20フェムト秒以下という極小幅のパルスレーザー光を得ることに成功。さらに究極的な光の位相の自動安定化法を確立したり、量子干渉法を用いた絶対位相を測定するなど成果を挙げており、こうした次世代分光技術の確立に役立つ研究が認められた。

表彰式典は来年2月19日に、京都市中京区の京都ホテルオークラで開かれ、小林教授が記念講演を行う予定。

日経産業新聞 09.12.09 (14)

# 島津賞に電通大 小林特任教授

【京都】島津科学技術振興財団（京都市、理事長・岡本道雄京大名誉教授）は8日、2009年度の島津賞に電気通信大学の小林孝嘉特任教授（65）を選んだと発表した。同賞は科学計測の基礎研究で成果を上げた研究者を表彰。小林氏は自身が開発した世界最短の照射時間を持つパルスレーザーで複雑な分子の変化を測定する遷移状態分光法を確立したことが評価された。

島津賞の授賞式は来年2月19日に京都市内で開き、300万円を贈る。45歳以下の若手研究者を対象とする研究開発助成特任講師ら11件の研究を選定。1件あたり100万円を助成する。